

# 令和5年度 自由選択:沖縄の美術工芸 シラバス

沖縄県立 宜野湾高等学校

教科名	科目名	履修学年	単位数	教科書
芸術	沖縄の美術工芸	3学年(自選)	2	なし
目 標	<p>地域の素材・技法の創作活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術工芸を愛する心情と態度を育てると共に感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術工芸の伝統と文化についての理解を深める。</p> <p>【表 現】</p> <p>(1) 絵画・彫刻</p> <p>ア 自然、自己、社会などを深く見つめて主題を生成すること。</p> <p>イ 表現形式を選択し、創造的で心豊かな表現の構想を練ること。</p> <p>ウ 主題にあった表現方法を工夫し、創造的に表現すること。</p> <p>(2) デザイン</p> <p>ア 自然、自己、社会などを深く見つめて、生活を美しく豊かにするデザインの働きを考えて主題を生成すること。</p> <p>イ 目的や条件などを基に、デザイン効果を考えて表現形式を選択し、創造的で心豊かな表現の構想を練ること。</p> <p>ウ 主題にあった表現方法を工夫し、創造的に表現すること。</p> <p>(3) 映像メディア表現</p> <p>ア 映像メディアの特性を生かして独創的な主題を生成し、表現の構想を練ること。</p> <p>イ 主題に合った表現法を工夫し、仲間と協力しながら創造的な映像メディアを追及すること。</p> <p>【鑑 賞】</p> <p>ア 作品や作者の個性等に関心を持ち、発想や構想の独自性、表現の工夫等について多様な視点から分析し理解すること。</p> <p>イ 心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きについて理解を深めること。</p> <p>ウ 時代、民族、風土、宗教などによる表現の相違や共通点などを考察し、美術文化についての理解を一層深め</p>			
教 材	<p>教科書：なし</p> <p>その他：図録各種、参考図書、プリント、DVD・ビデオ教材等</p>			
授業方法及び形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や図録、資料集などの視覚教材やプリント教材などを多面的に利用して、実技を中心とした造形学習を行います。</li> <li>・スケッチブックやデッサン、絵の具の種類や性質、美術用語について平面や立体など、演習を交えた発展的な学習を行います。</li> <li>・演習的な簡易作品の制作から平面や立体などの長期的計画による、課題作品の制作など計画的に実施します。制作後は作品展示による鑑賞や、コンクール出品、展示会等への出品も行います。</li> <li>・基礎的な演習後に、演習を踏まえた課題が提示されます。各自資料及び材料を収集し、作品制作から完成に至るまでの計画やアイデアスケッチ等の構想に綿密に練ることを重視していきます。</li> <li>・定期考査は実施しないが夏休みに宿題を出します。</li> </ul>			
成績評価の目安	<p>1・観点別評価に応じた実技課題(作品制作)の評価・・・約50%</p> <p>2・宿題・ワークシート(自習課題)等の提出物の評価・・・約30%</p> <p>3・毎授業の学習態度や出席状況の評価・・・約20%</p>			
評 価 の 観 点	a. 関心・意欲・態度	美術を愛好し、美術文化に関心を持ち、感性を高めて意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとする。		
	b. 発想や構想の能力	感性を働かせて美術のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに発想し創造的に表現を工夫する。		
	c. 創造的な技能	個性豊かに創造的な表現をするために材料・技法を活用して表現する技能を身につけようとしている。		
	d. 鑑賞の能力	心豊かな生き方の創造にかかわる美術の働きや美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを味わうことができる。		

# 令和5年度 自由選択:美術Ⅲ シラバス

沖縄県立 宜野湾高等学校

教科名	科目名	履修学年	単位数	教科書
芸術	美術Ⅲ	3学年(自選)	2	38光村-美Ⅲ-303
目 標	<p>・美術の創造的な諸活動を通して美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育て、感性を高め個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばすと共に、自分の主張を根拠に基づいて言える生徒の育成を図る。</p> <p>【表 現】</p> <p>(1) 絵画・彫刻</p> <p>ア 自然、自己、社会などを深く見つめて主題を生成すること。</p> <p>イ 表現形式を選択し、創造的で心豊かな表現の構想を練ること。</p> <p>ウ 主題にあった表現方法を工夫し、創造的に表現すること。</p> <p>(2) デザイン</p> <p>ア 自然、自己、社会などを深く見つめて、生活を美しく豊かにするデザインの働きを考えて主題を生成すること。</p> <p>イ 目的や条件などを基に、デザイン効果を考えて表現形式を選択し、創造的で心豊かな表現の構想を練ること。</p> <p>ウ 主題にあった表現方法を工夫し、創造的に表現すること。</p> <p>(3) 映像メディア表現</p> <p>ア 映像メディアの特性を生かして独創的な主題を生成し、表現の構想を練ること。</p> <p>イ 主題に合った表現法を工夫し、仲間と協力しながら創造的な映像メディアを追及すること。</p> <p>【鑑 賞】</p> <p>ア 作品や作者の個性等に関心を持ち、発想や構想の独自性、表現の工夫等について多様な視点から分析し理解すること。</p> <p>イ 心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きについて理解を深めること。</p> <p>ウ 時代、民族、風土、宗教などによる表現の相違や共通点などを考察し、美術文化についての理解を一層深め</p>			
教 材	<p>教科書：光村 美術3</p> <p>その他：図録各種、参考図書、プリント、DVD・ビデオ教材等</p>			
授業方法及び形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や図録、資料集などの視覚教材やプリント教材などを多面的に利用して、実技を中心とした造形学習を行います。</li> <li>・スケッチブックやデッサン、絵の具の種類や性質、美術用語について平面や立体など、演習を交えた的な発展的な学習を行います。</li> <li>・演習的な簡易作品の制作から平面や立体などの長期的計画による、課題作品の制作など計画的に実施します。制作後は作品展示による鑑賞や、コンクール出品、展示会等への出品も行います。</li> <li>・基礎的な演習後に、演習を踏まえた課題が提示されます。各自資料及び材料を収集し、作品制作から完成に至るまでの計画やアイデアスケッチ等の構想に綿密に練ることを重視していきます。</li> <li>・定期考査は実施しないが夏休みに宿題を出します。</li> </ul>			
成績評価の目安	<p>1・観点別評価に応じた実技課題(作品制作)の評価・・・約50%</p> <p>2・宿題・ワークシート(自習課題)等の提出物の評価・・・約30%</p> <p>3・毎授業の学習態度や出席状況の評価・・・約20%</p>			
評 価 の 観 点	a. 関心・意欲・態度	美術を愛好し、美術文化に関心を持ち、感性を高めて意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとする。		
	b. 発想や構想の能力	感性を働かせて美術のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに発想し創造的に表現を工夫する。		
	c. 創造的な技能	個性豊かに創造的な表現をするために材料・技法を活用して表現する技能を身につけようとしている。		
	d. 鑑賞の能力	心豊かな生き方の創造にかかわる美術の働きや美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを味わうことができる。		

# 令和5年度 美術Ⅱ シラバス

沖縄県立 宜野湾高等学校

教科名	科目名	履修学年	単位数	教科書
芸術	美術Ⅱ	2学年(選択)	2	38光村－美術Ⅱ－701
目 標	<p>・美術の創造的な諸活動を通して美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育て、感性を高め個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばすと共に、自分の主張を根拠に基づいて言える生徒の育成を図る。</p> <p>【表 現】</p> <p>(1) 絵画・彫刻</p> <p>ア 自然、自己、社会などを深く見つめて主題を生成すること。</p> <p>イ 表現形式を選択し、創造的で心豊かな表現の構想を練ること。</p> <p>ウ 主題にあった表現方法を工夫し、創造的に表現すること。</p> <p>(2) デザイン</p> <p>ア 自然、自己、社会などを深く見つめて、生活を美しく豊かにするデザインの働きを考えて主題を生成す</p> <p>イ 目的や条件などを基に、デザイン効果を考えて表現形式を選択し、創造的で心豊かな表現の構想を練ること。</p> <p>ウ 主題にあった表現方法を工夫し、創造的に表現すること。</p> <p>【鑑 賞】</p> <p>ア 作品や作者の個性等に関心を持ち、発想や構想の独自性、表現の工夫等について多様な視点から分析し理解すること。</p> <p>イ 心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きについて理解を深めること。</p> <p>ウ 時代、民族、風土、宗教などによる表現の相違や共通点などを考察し、美術文化についての理解を一層深めること。</p>			
教 材	<p>教科書：光村 美術2</p> <p>その他：図録各種、参考図書、プリント、DVD・ビデオ教材等</p>			
授業方法及び形態	<p>・教科書や図録、資料集などの視覚教材やプリント教材などを多面的に利用して、実技を中心とした造形学習を行います。</p> <p>・スケッチブックやデッサン、絵の具の種類や性質、美術用語について平面や立体など、演習を交えた基礎的な学習を行います。</p> <p>・演習的な簡易作品の制作から平面や立体などの長期的計画による、課題作品の制作など計画的に実施します。制作後は作品展示による鑑賞や、コンクール出品、展示会等への出品も行います。</p> <p>・基礎的に演習後に、演習を踏まえた課題が提示されます。各自資料及び材料を収集し、作品制作から完成に至るまでの計画やアイデアスケッチ等の構想に綿密に練ることを重視していきます。</p> <p>・定期考査は二学期の期末考査のみ実施します。夏休みの宿題もあります。</p>			
成績評価の目安	<p>1・観点別評価に応じた実技課題(作品制作)の評価・・・50%</p> <p>2・宿題やワークシート、自習課題等の提出物の評価・・・30%</p> <p>3・毎授業の学習態度や出席状況の評価・・・20%</p>			
評 価 の 観 点	a. 関心・意欲・態度	美術を愛好し、美術文化に関心を持ち、感性を高めて意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとする。		
	b. 発想や構想の能力	感性を働かせて美術のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに発想し創造的に表現を工夫する。		
	c. 創造的な技能	個性豊かに創造的な表現をするために材料・技法を活用して表現する技能を身につけようとしている。		
	d. 鑑賞の能力	心豊かな生き方の創造にかかわる美術の働きや美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを味わうことができる。		

# 令和5年度 美術 I シラバス

沖縄県立 宜野湾高等学校

教科名	科目名	履修学年	単位数	教科書
芸術	美術 I	1学年(選択)	2	38光村一美術 I -701
目 標	<p>・美術の創造的な諸活動を通して美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育て、感性を高め個性豊かな表現力と鑑賞の能力を伸ばすと共に、自分の主張を根拠に基づいて言える生徒の育成を図る。</p> <p>【表 現】</p> <p>(1) 絵画・彫刻</p> <p>ア 感じ取ったことや考えたこと、空想や想像などから主題を生成すること。</p> <p>イ 表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成等を工夫した心豊かな表現の構想を練ること。</p> <p>ウ 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫し、創造的に表現すること。</p> <p>(2) デザイン・工芸</p> <p>ア 目的、機能、美しさなどを考えて主題を生成し、形や色彩などの構成要素の働きを考え構想を練ること。</p> <p>イ 意図に応じてデザイン効果を考えて表現形式を選択し、創造的で心豊かな表現の構想を練ること。</p> <p>ウ 主題にあった表現方法を工夫し、目的や計画を基に表現すること。</p> <p>【鑑 賞】</p> <p>ア 美術作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫等を感じ取り、理解を深めること。</p> <p>イ 映像メディア表現の特質や表現の効果を感じ取り、理解すること。</p> <p>ウ 自然と美術とのかかわり、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて理解を深めること。</p> <p>エ 日本の美術の歴史や表現の特質、日本及び諸外国の美術文化についての理解を一層深めること。</p>			
教 材	<p>教科書：光村 美術1</p> <p>その他：図録各種、参考図書、プリント、DVD・ビデオ教材等</p>			
授業方法 及び形態	<p>・教科書や図録、資料集などの視覚教材やプリント教材などを多面的に利用して、実技を中心とした造形学習を行います。</p> <p>・スケッチブックやデッサン、絵の具の種類や性質、美術用語について平面や立体など、演習を交えた基礎的な学習を行います。</p> <p>・演習的な簡易作品の制作から平面や立体などの長期的計画による、課題作品の制作など計画的に実施します。制作後は作品展示による鑑賞や、コンクール出品、展示会等への出品も行います。</p> <p>・基礎的に演習後に、演習を踏まえた課題が提示されます。各自資料及び材料を収集し、作品制作から完成に至るまでの計画やアイデアスケッチ等の構想に綿密に練ることを重視していきます。</p> <p>・定期考査は二学期の期末考査のみ実施します。夏休みの宿題もあります。</p>			
成績評価 の目安	<p>1・観点別評価に応じた実技課題(作品制作)の評価・・・50%</p> <p>2・宿題やワークシート、自習課題等の提出物の評価・・・30%</p> <p>3・毎授業の学習態度や出席状況の評価・・・20%</p>			
評 価 の 観 点	a. 知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。		
	b. 思考力・判断力・表現力	自然の造形や美術作品等の造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。		
	c. 主体的に授業に取り組む態度	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していくことができる。		